



阿武隈川は洋々と

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://igu.myswan.ed.jp/>

伊具高校 高校魅力化コーディネーター！

全国的に高等学校の魅力化に取り組む動きが活発化している中で、昨年12月に一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームの本宮理恵さんに島根県から来ていただき講話をいただきました。「若者×地域の挑戦～地域の未来を共に創る～」のテーマで、地域と学校をつなぐコーディネーターという役割を担う人、地域の大人たちが地域における子どもたちにとっての学びの土壌となることについてお話いただきました。2年次・3年次の生徒の皆さんは覚えていると思いますが、魅力化に取り組んだ高校生の社会意識や社会変革効力感が高まっているというデータがありました。町がまずあるのではなくその前に自分がいるということが大切であり、まちづくりの前に自分の未来を自分でつくるのが大切であることを学びました。これから皆さんが課題を発見し、解決しようと取り組む姿勢を持って地域貢献に取り組んで欲しいと願っています。伊具高校は総合学科の4系列で専門的な知識・技術を学んでいますが、学校内の学びで完結するだけでなく地域に出てその学びをさらに発展させ、リアルな社会で皆さんの力を試して欲しいです。

各系列では伊具高校ならではの学習活動に取り組んでいますが、丸森町という行政、丸森・角田の小中学校、地域住民の方々、地元の企業の皆様とともに「伊具高校づくり」を進めていかなければなりません。伊具高校、行政、地域住民、小中学校や大学等教育機関、企業、県や町教育委員会との連携や調整を丸森町教育委員会の前教育長 佐藤隆夫先生に高校魅力化コーディネーターとして活動していただきます。具体的な役割は検討中ですが、主な役割は以下のとおりです。

- 伊具高校と地域社会の協働態勢の推進（地域全体での伊具高校づくり）
- 地域社会に開かれた教育課程の推進（学校内外での地域課題解決型学習）
- 地域社会での学習環境や学習機会の調整（授業や諸活動の地域とのマッチング）等々

伊具高校は生徒の皆さんの智恵で作上げることができます。学校は先生方が主体になって作るものではなく、生徒が主体となって作ります。これが伝統になっていくものです。一人一人が自らの学びを充実できるようにしていきましょう。

佐藤隆夫先生には学習サポーターとしても、学習面でも御指導をいただきますので、教科学習、学習方法などの悩み、テスト対策など相談してみてください。さらに、学習サポーターには角田にある「まなびの森」の坂本一先生にも御協力をいただきますので、何の教科でも質問に答えていただけますので相談してください。本校は地域の方々のサポートをいただきながら教育活動の充実を図っていきます。生徒の皆さんがこれからも安心して諸活動に取り組むことができるようにしていきます。

3年次生徒・保護者対象進路説明会開催

6月29日（月）の5・6校時に3年次生徒・保護者対象の進路説明会を開催しました。多くの保護者の方々に参加していただき説明に耳を傾けていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じ、席の間隔を空けマスク着用で実施しました。進路指導部鈴木・加藤両先生より進学・就職の約束事や今までの事例をまじえて



講話を行いました。校長からはコロナ対策における御家庭での協力に対して誠意を伝え、生徒には3つの「く」についての話をいたしました。話す人の方に「向く」、話す人の大切なポイントをメモする「書く」、話す人に対して「頷く」ことの大切さについての内容でした。早速取り組んだ生徒もいました。また、始まるまでの5～6分の時間がありましたが、私語もせず静かに待っていることができる伊具高校の生徒たちです。この説明会の内容を活かして進路を決定する活動に取り組んで欲しいです。保護者の皆様の御協力に感謝申し上げます。

令和2年度 オンラインによる生徒総会実施！！

6月24日(水)に生徒総会を実施しました。1日から学校が再開され、部活動も再開されました。体育祭は中止になり、生徒会が企画準備する活動も少なくなる中、生徒会の皆さんが準備し、生徒の自治活動の基本である生徒総会を新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から大勢の生徒が一同に会せずに本校初のオンラインで実施することができました。

当日は生徒会長と議長を中心に役員の皆さんが会議室から ZOOM を用いて各教室に映像を配信し、協議を行いました。音声や映像がうまく配信できない場面もありましたが、活発な議論を展開することができ大成功でした。生徒会長の佐久間さんは「初めてのリモートでの生徒総会はトラブルがあり大変なところもありましたが、生徒会や部活の代表部長、議長、各委員会の委員長の皆さんが一生懸命頑張ってくれました。」と振り返っています。本校の生徒は教職員の協力を得ながらも積極的に行動できる素晴らしい力を持っています。



「課題研究」と授業の紹介

◎機械系列ブランド化プロジェクト

6月25日(木)の5・6校時「課題研究」の時間に機械系列の話し合いが外部の関係者(宮城県経済商工観光部産業人材対策課の北村さん、仙南マシクラブの熊谷さんと千葉さん)にアドバイスをいただきながら、仮設住宅で必要なものについてうかがったアンケート結果を基に今後の活動について検討しました。これからの製作活動を見守っていきたいと思います。



◎農学系列 1年次生徒の手植え実習

6月26日(金)の1・2校時の授業で、1年次生6人が本校の田圃(本校グラウンドのところにある交差点と道路に接する場所にあり)で手植え実習を行いました。生徒達も先生も裸足になって田圃に入り丁寧に植えました。おそらく生徒たちは初めての体験かと思いますが、素晴らしい体験になったと思います。秋に収穫して美味しいお米「だて正夢」を期待しています。



◎農学系列 2年次生の桜植樹

6月26日(金)3、4校時に、2年次農学系列生徒4名が丸森町の不動尊公園で、農業機械の授業の一環として、桜の植栽を行いました。生徒達がミニバックホーを巧みに操り、穴を掘って、肥料を混ぜ、桜の苗木を1本ずつ丁寧に植え付けました。昨年の台風被害がまだまだ残る痛々しい河川敷ですが、以前のような賑わいを取り戻し、きれいな桜が満開になることを期待させる活動でした。レストラン天水舎の脇に植えていますので、レストランが再開した際には食事をとりながらどうぞ御覧下さい。



◎農学系列 3年次生徒の「棚田プロジェクト」

6月29日(月)1、2校時、3年次農学系列生徒7名が丸森町の大張沢尻棚田で、棚田の保全活動について、本校OBの大槻光一さんからお話を聞いてきました。日本の棚田100選に認定された大張沢尻棚田は、新聞やテレビで紹介されている、丸森の観光名所です。昨年の台風19号で大きな被害を受けたため、今年の作付けは厳しいところでしたが、何とか継続したいとの熱い思いを持ち、10日かけて土砂の撤去を行ったということです。生徒達は大槻さんの言葉を真剣に受け止めています。次回は保全活動の一環として、草刈りや水管理などの実習を行う予定です。

